

問1 回答者の所属する裁判所名については、特定情報のため、掲載を省略した。

問2. 事件番号

	全体	平成22年
件数	47	47
割合	100.0	100.0

問3. 事件の種類

	売買代金（売掛代金を含む。）	貸金	立替金・求償金等（信販関係事件に限る。）	建築請負代金等	建築瑕疵による損害賠償	交通事故による損害賠償	医療行為による損害賠償	公害による損害賠償	その他の損害賠償	手形・小切手金（異議を除く。）	手形・小切手異議	金銭債権債務存否確認	労働に関する訴え
件数	-	4	-	2	1	1	-	-	18	-	-	-	-
割合	0.0	8.5	0.0	4.3	2.1	2.1	0.0	0.0	38.3	0.0	0.0	0.0	0.0

	知的財産権に関する訴え	その他の金銭を目的とする訴え	建物を目的とする訴え	土地を目的とする訴え（境界（筆界）に関する訴えを除く。）	境界（筆界）に関する訴え	労働に関する訴え（金銭を目的とする訴えを除く。）	知的財産権に関する訴え（金銭を目的とする訴えを除く。）	請求異議の訴え	第三者異議の訴え	公害に係る差止めの訴え	責任追及等の訴え（株主代表訴訟事件）	その他の訴え	全体
件数	-	8	2	2	1	1	-	-	1	-	-	6	47
割合	0.0	17.0	4.3	4.3	2.1	2.1	0.0	-	2.1	-	-	12.8	100.0

問3-16. 建物を目的とする訴え：主に不動産の賃貸借契約に関する紛争であるか

	全体	いいえ	はい
件数	2	-	2
割合	100.0	-	100.0

問3-17. 土地を目的とする訴え：主に不動産の賃貸借契約に関する紛争であるか

	全体	いいえ	はい
件数	2	1	1
割合	100.0	50.0	50.0

問4. 第1審の訴額

	全体	100万円まで	200万円まで	300万円まで	400万円まで	500万円まで	1000万円まで	5000万円まで	1億円まで	5億円まで	10億円まで	10億円を超える	算定不能・非財産権上のもの
件数	47	9	5	6	2	6	9	5	-	2	-	-	3
割合	100.0	19.1	10.6	12.8	4.3	12.8	19.1	10.6	-	4.3	-	-	6.4

問5. 1審の終局状況について該当するものを回答してください。

	全体	判決全部認容	判決一部認容	判決全部棄却	判決却下	判決その他
件数	47	12	9	22	-	4
割合	100.0	25.5	19.1	46.8	-	8.5

問6. 1審判決に対する控訴・附帯控訴の状況について、該当するものを回答してください。(複数回答可)

	全体	1審原告が控訴をした。	1審被告が控訴をした。	1審原告が附帯控訴をした。	1審被告が附帯控訴をした。
件数	47	26	23	3	-
割合	100.0	55.3	48.9	6.4	-

問7. 控訴審の終局状況について該当するものを回答してください。

	全体	判決原 判決取消し・ 変更	判決控 訴棄却	判決控 訴却下	和解	控訴取 下げ	放棄	認諾	訴え取 下げ	その他
件数	47	8	35	-	2	-	-	-	-	2
割合	100.0	17.0	74.5	-	4.3	-	-	-	-	4.3

問7. 判決 原判決取消し・変更(判決内容について、次の中から当てはまるものを選んでください。)

	全体	1審判決より も1審原告側 に有利	1審判決より も1審原告側 にやや有利	どちらともい えない	1審判決より も1審原告側 にやや不利	1審判決より も1審原告側 に不利
件数	8	3	1	-	2	2
割合	100.0	37.5	12.5	-	25.0	25.0

問7. 和解(和解内容について、次の中から当てはまるものを選んでください。)

	全体	1審判決より も1審原告側 に有利	1審判決より も1審原告側 にやや有利	どちらともい えない	1審判決より も1審原告側 にやや不利	1審判決より も1審原告側 に不利
件数	2	-	-	-	2	-
割合	100.0	-	-	-	100.0	-

問8. 1審における訴訟代理人弁護士の選任状況について、次のうち当てはまるものを選択してください(なお、1審の途中から弁論終結時までには訴訟代理人弁護士が付いたり、又は当初付いていた訴訟代理人弁護士が弁論終結時までには辞任したりするなど、一時的にせよ弁護士の関与があった場合は、いずれも「弁護士が付いていた」として回答してください。)

	全体	1審原告に訴訟代理人 弁護士が付いてい た。	1審被告に訴訟代理人 弁護士が付いてい た。	いずれの当事者にも訴訟代 理人弁護士は付いていな い。
件数	47	17	21	9
割合	100.0	36.2	44.7	19.1

問9. 控訴審における訴訟代理人弁護士の選任状況について、次のうち当てはまるものを選択してください（なお、控訴審の途中から弁論終結時までに訴訟代理人弁護士が付いたり、又は当初付いていた訴訟代理人弁護士が弁論終結時までに辞任したりするなど、一時的にせよ弁護士の関与があった場合は、いずれも「弁護士が付いていた」として回答してください。）。

	全体	1 審原告に訴訟代理人弁護士が付いていた。	1 審被告に訴訟代理人弁護士が付いていた。	いずれの当事者にも訴訟代理人弁護士は付いていなかった。	いずれの当事者にも訴訟代理人弁護士が付いていた。
件数	47	15	18	9	5
割合	100.0	31.9	38.3	19.1	10.6

問10-1. 控訴審における期日実施の状況；控訴審において、改めて実質的な争点整理のための期日（口頭弁論期日、弁論準備手続期日、進行協議期日等、期日の種類は問いません。）を行った。

	全体	いいえ	はい
件数	47	45	2
割合	100.0	95.7	4.3

問10-2. 控訴審における期日実施の状況；第1回口頭弁論期日において、審理を終結した。

	全体	いいえ	はい
件数	47	11	36
割合	100.0	23.4	76.6

問11-1. 控訴審における当事者の主張(1 審原告)：1 審で主張していなかった新たな事実上の主張をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	43	4
割合	100.0	91.5	8.5

問11-2. 控訴審における当事者の主張(1 審原告)：1 審で主張していなかった新たな法律上の主張をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	44	3
割合	100.0	93.6	6.4

問11-3. 控訴審における当事者の主張(1 審原告)：1 審段階での主張立証に基づいて、原判決の認定判断を批判する主張をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	19	28
割合	100.0	40.4	59.6

問11-4. 控訴審における当事者の主張(1 審被告)：1 審で主張していなかった新たな事実上の主張をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	42	5
割合	100.0	89.4	10.6

問11-5. 控訴審における当事者の主張(1 審被告)：1 審で主張していなかった新たな法律上の主張をした。

	全体	いいえ	はい
件数	47	44	3
割合	100.0	93.6	6.4

問11-6. 控訴審における当事者の主張(1 審被告)：1 審段階での主張立証に基づいて、原判決の認定判断を批判する主張をした。

	全体	いいえ	はい
件数	47	26	21
割合	100.0	55.3	44.7

問12-1. 控訴審における立証の状況(書証):1審原告が,1審で提出していなかった新たな書証を提出した。

	全体	いいえ	はい
件数	47	26	21
割合	100.0	55.3	44.7

問12-2. 控訴審における立証の状況(書証):1審被告が,1審で提出していなかった新たな書証を提出した。

	全体	いいえ	はい
件数	47	31	16
割合	100.0	66.0	34.0

問12-3. 控訴審における立証の状況(人証):1審原告申出の人証(本人又は証人)の尋問をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	44	3
割合	100.0	93.6	6.4

問12-4. 控訴審における立証の状況(人証):1審被告申出の人証(本人又は証人)の尋問をした

	全体	いいえ	はい
件数	47	46	1
割合	100.0	97.9	2.1

問12-5. 控訴審における立証の状況(人証):職権で本人尋問を行った

	全体	いいえ	はい
件数	47	47	-
割合	100.0	100.0	-